

3月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 枚方大橋～大阪府京都府境界(京阪橋本駅付近)(左岸25.7k～34.6k)		
モニター実施日時	令和3年3月27日(土) 16時頃～17時頃		
天候	晴れ		
(見出し)			
<p>今月は、今までモニターしてこなかった河川敷上川、堤防沿いの北河内サイクルラインに沿ってモニターしました。</p> <p>モニター区間は牧野の穂谷川合流地点から下流に向かって牧野揚排水機場手前付近までです。</p> <p>季節による周囲の自然環境の変化、ゴミの投棄、周辺設備の損傷等について報告します。</p>			
(内容)			
<p><牧野・穂谷川合流地点から下流へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変暖かく天気の良い土曜日だった為、たくさん散歩やお花見をされている方がいらっしゃいました。 ・牧野方面側の土手の桜並木が満開で大変綺麗でした。 ・河川敷は先月モニターした時より土手にも緑の色が増えていて、春になったことを感じさせます。 			
			
<p><藤本川ポンプ場放流梁付近から北河内サイクルラインへ上がる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こちらの北河内サイクルラインは、まっすぐ一直線に堤防上にあるため大変見晴らしがよく、モニターしてとても気持ちの良い道でした。 ・高槻方面も一面見渡せます。高槻茨城方面の空に黒煙が上がっていて、調べると摂津の製紙工場で大規模な火災が発生していたとのこと。消防車のサイレンの音は聞こえませんでしたので距離的にかなり離れていたと思いますが、この場所からだと遮るものが無いので近くで大きな火災が起きているのかと思いました。火災はその後不幸中の幸い怪我人等なく鎮火したとのこと良かったです。 			



- ・河川と反対側の土手沿いが断続的に菜の花畑になっておりました。
- ・とても良い香りがしていて、なんの匂いかと思ったら菜の花の香りでした。これだけたくさん咲いていると、この開けた空間にもしっかりと香りが漂うのですね。



<淀川上流30km地点付近>

- ・河川側の土手にプレートが埋め込んでありました。
- ・こちら側の北河内サイクルラインは、河川敷下のルートと違い道幅も狭く、路面の舗装状態もあまり良くないです。
- ・アスファルトが剥がれるほどではないものの、道全体にひび割れが発生しておりました。
- ・河川側の土手とゴルフ場敷地に挟まれた枯れた葦の茂みのあたりから頻繁に鶯の鳴き声が聞こえました。野鳥の住処になっているようです。
- ・蚊の集団のような虫がたくさん発生していました。



- ・ペットボトルや空き缶、マスク等のポイ捨てゴミを度々見かけましたが、ゴミの量自体は河川敷下ルートに比べたら少なかったです。
- ・道幅が狭いからか、集団でサイクリングをしている方をほとんど見かけませんでした。一人か二人で走っておられる方が多かったです。
- ・道幅が狭いので、背後から2台併走して走ってくる自転車に何度か怖い思いをしました。
- ・河川敷下ルートではたくさん見かけた自転車利用者向けのマナー向上注意喚起の看板を一枚も見かけませんでした。狭いので看板を立てるのが危険等何か理由があるのかもしれませんが、こちらにも設置したほうが良いのではないかと思います。
- ・淀川上流30kmの道標がありました。



<淀川上流29km付近～渚体育館付近>

- ・「29.8」と書かれたプレートがありました。後々先ほどの30km地点の道標を建てるのでしょうか。
- ・路面に時々ペットボトルのキャップのようなものが落ちているのをみかけましたが、よく見たらネジで地面に固定してありました。何かの印のようです。
- ・河川の様子を監視する為？の監視カメラ塔がありました。
- ・監視カメラ塔下部に設置されている金属製のボックスが大きくへこんで破損していました。かなりしっかりした金属製の箱ですし、誰かが故意にやったのだとは思いますがどのようにしてこうなったのかとても気になりました。中身は無事でしょうか・・・



- ・「起点下牧野・・・」「終点下牧野・・・区」と書かれた道標がありました。大きく傾いていて今にも倒れそうでしたが、触ってみると以外にがっちり固定されていました。
- ・「淀川距離標L29.4km」のプレートがありました。



- ・このあたりもまだ菜の花畑が続いていました。菜の花にはところどころ画像のようになった茎がありましたが、病気なのかなんなのか気になります。
- ・葛の新芽らしきものが出ておりました。
- ・鶯の他にも、早すぎて写真には収められませんでした。ツバメが飛んでおりました。
- ・ヒヨドリほどの大きさの鳥を何度も見かけたので、調べてみるとツグミのようでした。

今回のモニターは以上です。



(意見・感想・処置等)

三月のモニター報告有難うございました。

今年の三月の平均気温は非常に高かったみたいで、そのせいで春の訪れもかなり早いみたいですね。

堤防上のサイクリングロードは大阪府が設置したもので道路法の適用を受ける道路ですので標識等の設置については道路管理者である大阪府の判断によります。

反面緊急用河川敷道路は道路法の適用を受けていないため自転車等の規制は難しく、一層事故が起きないように啓発する必要があり、看板をたくさん設置して啓発に努めています。

大きく傾いた道標は淀川左岸水防事務組合の施設です。

私もよく知らないのですが、水防団の担当区域などを表示しているらしいです。

淀川距離標は河口からの距離を表示しています、30km地点の道標の様な整備はキロ毎に実施しておりその間の距離標については特に整備の計画ありません。

土手の黄色い菜の花、見た目は大変きれいですが堤防に悪い影響を与えることもあるという新聞記事をみたことがあります。

セイヨウカラシナなどは根がかなり太くなるそうです、このため枯れた後に空洞がたくさんできるそうです。

また太くなった根を食べるためにミミズが集まり、ミミズを食べるためにモグラが集まり堤防に穴をあけ、モグラを食べるためにキツネが堤防に穴をあける・・・という連鎖で堤防が危険な状態になる可能性もあるそうです。

関東の河川ではセイヨウカラシナ対策を既に行っている河川もあるそうです。

それでは四月のレポートをお待ちしております。